

デイサービスせんねん村運営規程

(事業の目的)

第1条 社会福祉法人せんねん村が開設するデイサービスせんねん村（以下「事業所」という。）が行う通所介護相当サービス（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の生活相談員、介護職員又は看護職員（以下「生活相談員等」という。）が、要支援状態にある高齢者に対し、適正な通所介護相当サービスを提供することを目的とする。

(運営の方針)

通所介護相当サービスの提供にあたっては、事業所の生活相談員等は、要支援者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。

2 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1)名称 デイサービスせんねん村
- (2)所在地 西尾市平口町大溝 77 番地

(職員の職種、員数及び職務の内容)

第4条 事業所に勤務する職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

- (1)管理者 1名（特別養護老人ホームせんねん村、ショートステイ、兼務）
 - (2)従業者
 - 生活相談員 1名以上
 - 介護職員 3名以上
 - 看護職員 1名以上
 - 機能訓練指導員 1名以上
- 従業者は、通所介護相当サービスの提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1)営業日 月～日とする。ただし、1月1日～2日を除く。
悪天候等利用者の安全確保上の理由等で営業を中止することがある。
- (2)営業時間 8：30 から 17：30 とする。ただし、必要に応じて時間延長できる。

(3) サービス提供時間 8:40~16:30 とする。

(通所介護相当サービスの利用定員)

第6条 事業所の利用定員は次のとおりとする

(1) 1単位 25名

(通所介護相当サービスの内容及び利用料等)

第7条 通所介護相当サービスの内容は次のとおりとし、通所介護相当サービスを提供した場合の利用料の額は、西尾市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱上の額とし、当該通所介護相当サービスが法定代理受領サービスであるときは、西尾市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱上の額に各利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額とする。

- (1) 生活指導
- (2) 機能訓練
- (3) 健康チェック
- (4) 送迎
- (5) 入浴
- (6) その他日常生活に必要な介護

2 時間延長については、営業時間内1時間1000円、営業時間外1時間2000円とする。

3 食費は次の金額を徴収する。

(1) 昼食 一食750円

4 おむつ代は以下の実費を徴収する。

- | | | |
|------------|--------|------|
| (1) パンツタイプ | Mサイズ | 130円 |
| | Lサイズ | 150円 |
| (2) テープ止め | 普通サイズ | 170円 |
| | 大きめサイズ | 190円 |
| (3) 尿とりパット | 男女兼用 | 50円 |

5 日常生活において通常必要となる費用で利用者が負担すべき費用は、実費を徴収する。

6 前各項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いに同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けることとする。

(緊急時等における対応方法)

第8条 生活指導員等は、通所介護相当サービスの提供を行っているときに、利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治の医師又はあらかじめ定めた協力医療機関に連絡する等の措置を講じ、管理者に報告しなければならない。

(通常の事業の実施地域)

第9条 通常の事業の実施地域は、西尾市（佐久島を除く）の区域とする。

（サービスの利用に当たっての留意事項）

第10条 利用者、家族が利用を行わない場合、及びサービス計画の変更や他の事業所に
変更した場合は、速やかに事業所に連絡を行う。また、利用できない日が発生し
た場合も、速やかに連絡を行う。

（非常災害対策）

第11条 事業所は、防火管理についての責任者を定め、非常災害に関する防災計画を作
成し、非常災害に備えるため、定期的に避難・救出等訓練を行う。

（業務継続計画の策定等に関する事項）

第12条 事業所は、感染症や非常災害の発生時において、入所者に対するサービスの提
供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための業務継
続計画を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じるものとする。業務継続計
画については、職員に対し周知し、研修及び訓練を定期的実施し、必要に応じて見直
し変更するものとする。

（衛生管理等）

第13条 事業所は、利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水等
について、衛生的な管理に努めるものとする。

2 事業所は、事業所内において感染症の発生又はそのまん延の防止をするために、
必要な措置を講じなければならない。

（事故発生時の対応）

第14条 事業所は、通所介護相当サービスの提供により事故が発生した場合は、速や
かに利用者の家族、担当の介護支援専門員、市町村等へ連絡を行うとともに、必要な
措置を講じなければならない。

2 事業所は、前項の事故の状況及び事故に際して採った処置について記録するもの
とする。

（苦情処理等）

第15条 事業所は、提供した通所介護相当サービスに係る利用者又はその家族からの
苦情等に迅速かつ適切に対応するために、苦情等を受け付けるための窓口を設置す
る。

2 事業所は、前項の苦情等の内容について記録するものとする。

（虐待の防止のための措置に関する事項）

第16条 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、虐待防止のための指針を整備するとともに、必要な体制の整備を行い、従業者に対し、研修を実施する等の措置を講ずるよう努めるものとする。

(その他運営についての留意事項)

第17条 事業所は、生活相談員等の質的向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務体制を整備する。

(1)採用時研修 採用後3カ月以内

(2)継続研修 年1回

- 2 従事者は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従事者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従事者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従事者との雇用契約的内容に含むものとする。
- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は社会福祉法人せんねん村と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

最終改定 令和5年4月1日から改定する。

【改定経過】

平成30年 4月 1日から改定する。

令和 元年10月 1日から改定する。

令和 2年 6月 1日から改定する。

令和 2年12月 1日から改定する。

令和 3年 8月 1日から改定する。

令和 3年 6月 1日から改定する。

令和 4年 6月 1日から改定する。

令和 4年10月1日から改定する。

令和5 年 4月 1日から改定する。